

教科:(国語) 科目:(文学国語) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:西 ㊟)(2組:西 ㊟)(3組:松下 ㊟)(4組:松下 ㊟)(5組:西 ㊟)
 使用教科書:・新文学国語(三省堂)
 使用教材:・学習課題ノート(三省堂)・新訂国語図説六訂版(啓隆社)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や的確に判断する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、効果的に表現する資質・能力を育成する。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって自己を向上させ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていこうとする態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 授業オリエンテーション	○授業に必要なものの確認。 ○授業の進め方について。 ○評価について。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
詩「二十億光年の孤独」 谷川俊太郎	○作者独特の表現に触れ、言葉の持つイメージの力を感じさせる。意味だけでなく、音で感じ取る力を育む。 ○日常でつかう言葉と詩の言葉の違いを感じ取る。 ○「二十億光年の孤独」とは何かを考える。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
小説「予感」青山七恵	○ぼかされた内容は、無理に辻褃合わせせず、疑問のまま保ちたい。「わたし」の行動と心情の変化に注目し、理解させたい。 ○ぼかされた内容を考察させ、想像力を育ませる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
小説「たけくらべ」樋口一葉 (訳 川上未映子)	○現代語訳での表記を扱うが、原文にも触れ、その違いを感じ取る。 ○男女の内面を描く近代的な視点が、現代とどうつながっているか考える。 ○時代背景、環境を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5
5月 中間考査						
小説「山月記」中島敦	○短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞の仕方を学ぶ。 ○小説を自分に引き付けて読み、人間に対する深い感受性を養う。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	10
体育祭						

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	「山月記」要約文作成・ タイトル作成	○山月記をまとめて要約文を作成する。 ○自分なりのタイトルを考え作成する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	期末考査						

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月	夏季休業						
9月	小説「少年という名のメカ」松田青子	○「少年らしさ」が批判されていくなかで、世の中にあふれている「らしさ」に目を向ける。 ○この小説の面白さ（人物設定）を味わう。 ○「寓話的」なところに気付かせる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5
	詩「永訣の朝」宮沢賢治	○宮沢賢治の来歴を知る。 ○妹トシを悼む挽歌として、どう感情が動いていくのか理解する。 ○死を悼むことの表現の豊かさに触れることで、生死について考える。 ○方言の使用など特徴を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5
	中間考査						

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	俳句作成 P55「近・現代の短歌」	○55ページを参考にし、俳句を作成する。表現力を身に着けさせる。 ○季語を提示し、季節感ある言語力を育む。		○	○	○	4
11月	小説「雉始雛」 絲山秋子	○1学期に行った「予感」は謎のまま終わる小説であるが、本作は展開に伴って全容が明かされていく。その種明かしを楽しむ。 ○結末におわせ、複線の部分を改めて考察する。 ○結末に向けて全容が明らかになる作品構造を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	10

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
期末考査						
歌人調べ学習 p 220	○ p 220を参考にし、記載されている歌人について調べ、まとめて提出する。 ○ 歌人の基礎知識を得る。 ○ 歌人や時代による歌風を感じ取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
1 2 月						
小説「こころ」夏目漱石	小説の一部分について主人公の視点を通して、人間のエゴイズムという深層心理に迫る。1年間の総まとめということで、様々な推理や討議を加えながら、この小説の面白さに気づかせていくことを目的とする。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	8
1 月						
小説「こころ」夏目漱石	小説の一部分について主人公の視点を通して、人間のエゴイズムという深層心理に迫る。1年間の総まとめということで、様々な推理や討議を加えながら、この小説の面白さに気づかせていくことを目的とする。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				6

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
学年末考査						
コラム「明治時代のスイツ文豪男子」	○小説を読むときに違った視点で読めることを知り、新たな考えを育む。 ○今まで読んだ小説から、お菓子や食べ物を取り上げ、それが作品にどういった影響を及ぼしているのか、どういった効果があるのか考察する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
3月						